

LEARN WITH ソフトバンク ～魔法のプロジェクト 2024～ インクルーシブ教育 実践事例

事例の活用について

※本事例の知的財産は投稿者に留保されます、使用される際には出典として
「LEARN WITH ソフトバンク ～魔法のプロジェクト 2024 組織名」 を記載ください。

■基本情報

組織名： 沖縄県立大平特別支援学校

所在地： 沖縄県・浦添市
※都道府県・市区町村

氏名： 澤岬 圭祐

■インクルーシブ対応を検討するきっかけとなった児童・生徒（※以下「対象の子ども」と略）について

対象の子どもの学齢 17才（高校2年生）

障害種別：

- 知的障がい、知的障がいを伴う ASD
 高機能自閉、アスペルガー症候群 読み書き障がい
 注意欠損多動性障がい（AD/HD） 肢体不自由
 聴覚障がい 構音障がい 視覚障がい 病弱
 重度重複障がい その他

（ ）

主訴（主な困り）

- 読む 書く 聞く 見る 話す 記憶する
 移動する
 その他

（人との関わりへの苦手さや自信のなさ）

その他補足

- 小・中学校時代に不登校だったため、経験不足や自信の無さを感じることが多い。特に、人間関係（大人や初対面の人物に対して）に関して見られる。
○知的な遅れはそれほど感じないが、授業等で学習したことを活かす場面が少ない。

■対象の子どもが利用している ICT について

①利用端末（ハード） タブレット PC その他（ ）

②OS Windows MacOS Chrome Android iOS その他

③使用した ICT の機能やアプリを教えてください。複数あれば、ボックスを追加して記載してください。ネイティブアプリ（最初から搭載されているアプリ）の URL は記載不要です。

名称：ラベル屋さん
 紹介 URL： <https://www.labelyasan.com/>

名称：PowerPoint（アプリ版）
 紹介 URL： <https://apps.apple.com/jp/app/microsoft-powerpoint/id462062816?mt=12>

名称：To Do リスト
 紹介 URL：
<https://apps.apple.com/jp/app/todo%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%88-%E3%83%AA%E3%83%9E%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%80%E3%83%BC%E9%80%9A%E7%9F%A5%E4%BB%98%E3%81%8D%E3%81%AE%E3%83%A1%E3%83%A2%E5%B8%B3-%E3%82%84%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%88/id1168323403>

④上記の ICT を活用して、対象の子どもの困りをどのように軽減されたかを詳しく記載ください。

① については活動（人と関わるための作業等）を生み出すために活用した。インターフェースも使いやすく、ICT の活用に不慣れでも比較的活用しやすいことが利点として挙げられる。

② については対象生徒が今年度から生徒会長になり、自身の考えを人（校長等）に説明するためのツールとして活用している。しかもこのアプリの使用については自分でプレゼンを作り、職員に提示している。

③ については、自分のやるべきことや作業や依頼内容を忘れることがあるため、ToDo リストとして整理することで教師からの支援を減らすようにしている。

■インクルーシブ対応状況について

① インクルーシブ対応の検討の 児童生徒は、どの範囲まで利用が可能ですか？

教科	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての教科で使用可能 <input type="checkbox"/> 特定の教科のみ使用可能
場所	<input type="checkbox"/> 通級等のみ <input type="checkbox"/> クラス限定 <input type="checkbox"/> 学年限定 <input checked="" type="checkbox"/> 学校全体
利用シーン	<input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 授業中 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> 定期テスト <input checked="" type="checkbox"/> その他（課外活動）

② 周囲の児童生徒が ICT を使用するにあたり、個別の許可が必要ですか？

はい いいえ

■インクルーシブ対応に向けての工夫について

①前問で、「いいえ」と回答された方にお伺いします。環境整備に向けた実施事項/工夫点について記載ください

実施事項/工夫点

10年前から就学奨励費でiPadを購入することができるようになっており現在、高等部では授業で活用する前提でiPadを全生徒が所有しており、自由に活用することができているため特別な事項はない。

■その他

参考になる写真があれば、こちらに添付してください。

※個人の写真が含まれる場合、事前に保護者の許可が得られているものに限りませす。詳細は投稿要綱をご確認ください。



部活動の実施について校長にプレゼンする様子(左)。他にも、生徒会長として文化祭等への生徒の関わり方などについて生徒の代表として高等部職員へプレゼン(右)している。

■変化や効果について

①対象の子どもにどのような変化がありましたか

入学当初は自信がなさそうにしていることもあったが、取り組みを通して少しずついろんなことに挑戦する姿が見られるようになってきている。また、今年度より生徒会長に就任し、部活動の設置や学校行事への生徒の関わり方について教師に説明するなど、学校のリーダーとして高等部の生徒をリードする姿が見られるようになった。冬に行われたキャラバンにも参加し、その中で体験したことを活かす姿も見られている。小学校・中学校時代には不登校だったが、高等部入学後はほとんど欠席することもなくなっている。

②対象の子ども以外の児童・生徒や、学校全体にどのような変化がありましたか

対象生徒がリーダーとしていろんなことを発信することが増えたことで、生徒から部活をやりたいなどの意見が出るようになってきている。